

SOPHIA U

2026年度入学時学生意識調査 結果報告

IR推進室

実施期間：2026年4月5日（日）～5月31日（日）

調査対象：2026年度4月入学生



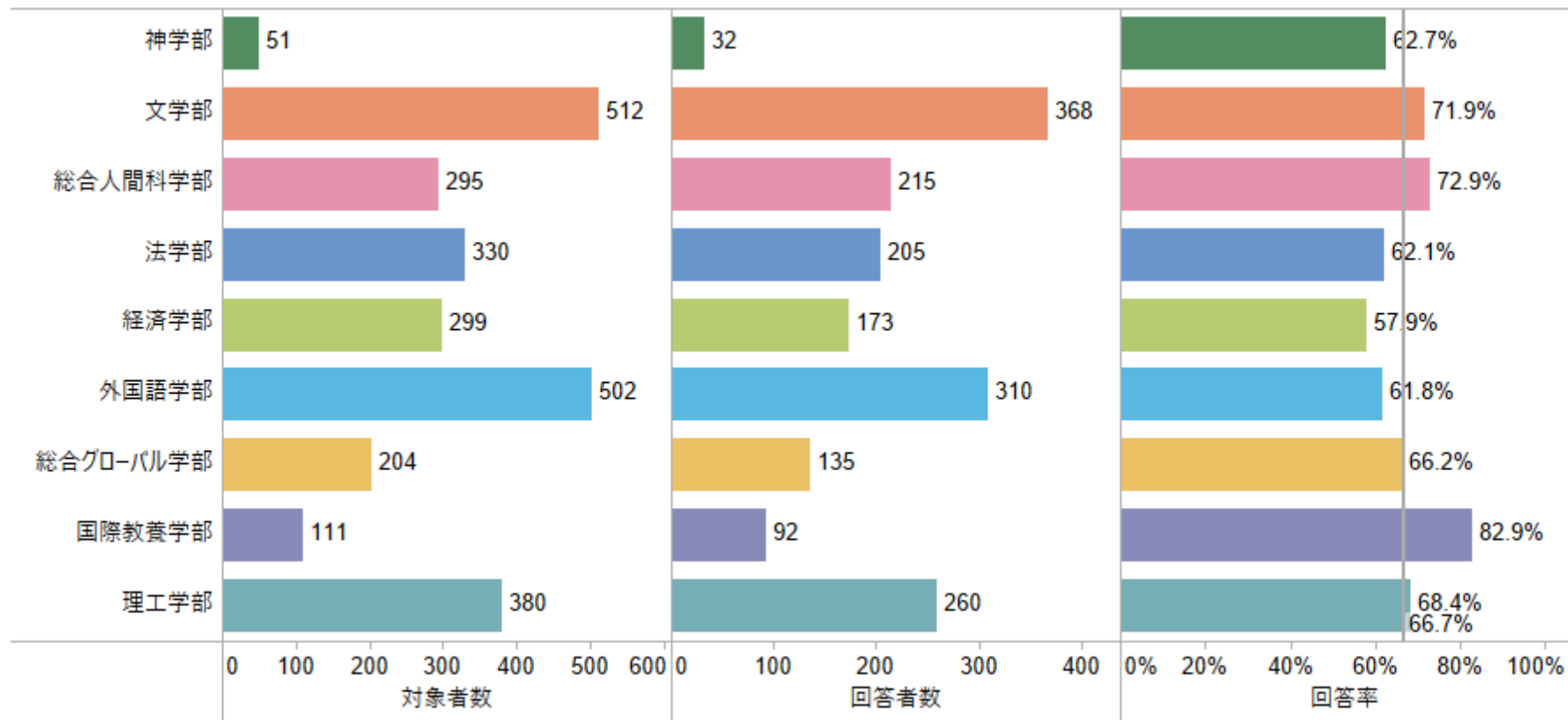
サマリー

- 入学満足度は非常に高く、「入学してよかった」とする学生が大多数を占める。
- 学部・学科の学問分野と自身の興味関心との一致度も高く、入学時点での納得感は強い。
- 上智大学を選んだ主な理由は「学びたい学部・学科があること」と「国際的な大学であること」。
- 大学へのイメージ・期待では、語学教育、留学支援・国際交流への評価が特に高い。
- 今後の大学生活では、語学、専門分野の学び、人との交流、資格・スキル習得への意欲が高い。
- 一方で、授業についていけるかという学修面の不安が最も大きい。
- 留学については関心層が一定数いる一方、希望しない学生も多く、意向は分かれている。
- 留学を希望しない理由は、経済的負担と授業との両立不安が中心。
- NPSはプラスで、推奨意向は良好だが、中立層を推奨者に引き上げる余地がある。

まとめ：

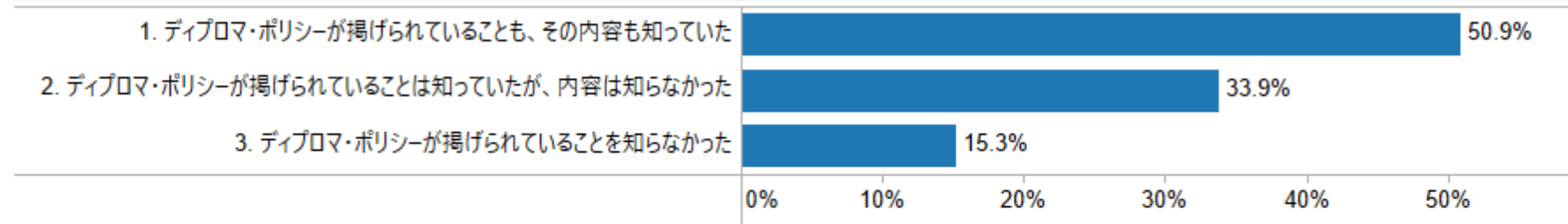
- 新入生は、上智大学の「学び」と「国際性」に高い期待と満足を持って入学している。
- 今後は、授業適応支援、語学・留学機会の充実、学生同士の交流促進が重要である。

対象者2,684名のうち1,790名から回答を得た。全体の回答率は66.7%。

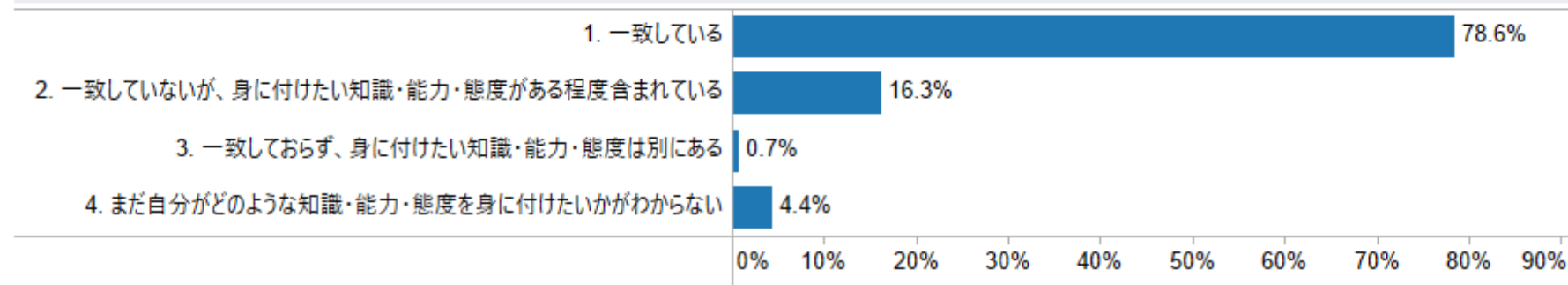


DPの認知は半数程度だが、入学後の学びとの期待整合性は高い。

あなたが所属する学部・学科では、ディプロマ・ポリシーとして次の知識・能力・態度の修得を掲げています。上智大学に入学する前に、この内容をご存じでしたか

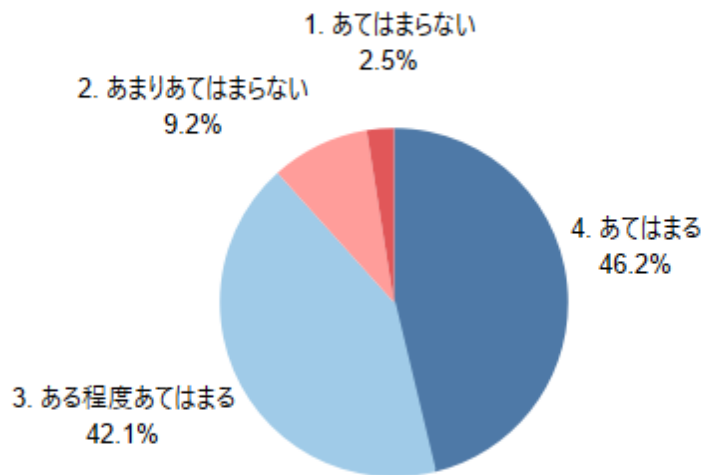


あなたが在籍している学部・学科のディプロマ・ポリシーは、あなたがこれから身に付けたいと考えている知識・能力・態度とは一致していますか



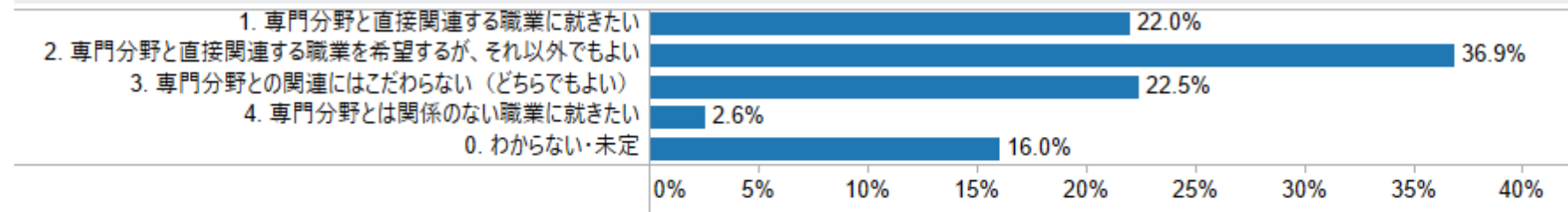
APとの自己適合感は非常に高く、入学時点の納得感が強い。

あなたが所属する学部・学科では、アドミッション・ポリシーとして次の項目を掲げています。現時点であなたの気持ちにあてはまるものを選んでください

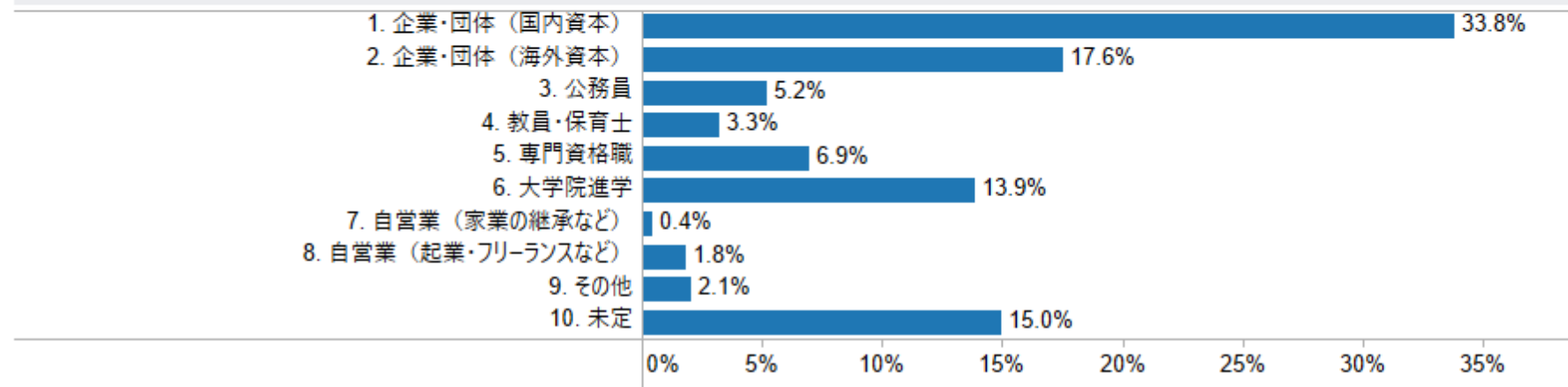


専門性を活かした進路志向はあるが、具体的進路はまだ分散している。

あなたが上智大学で学ぶ専門分野と進路との関係について、あなたの気持ちにあてはまるものを選んでください

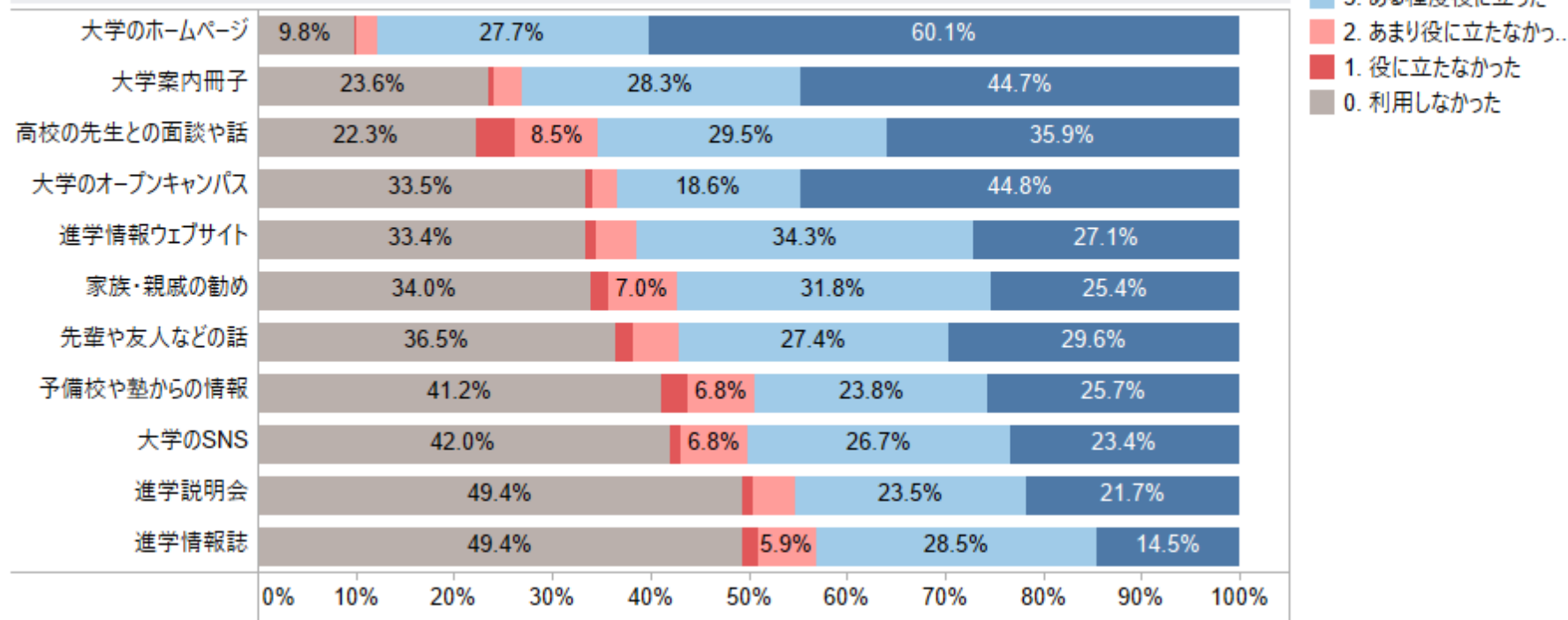


大学卒業後のあなたの希望進路について、もっともあてはまるものを選んでください



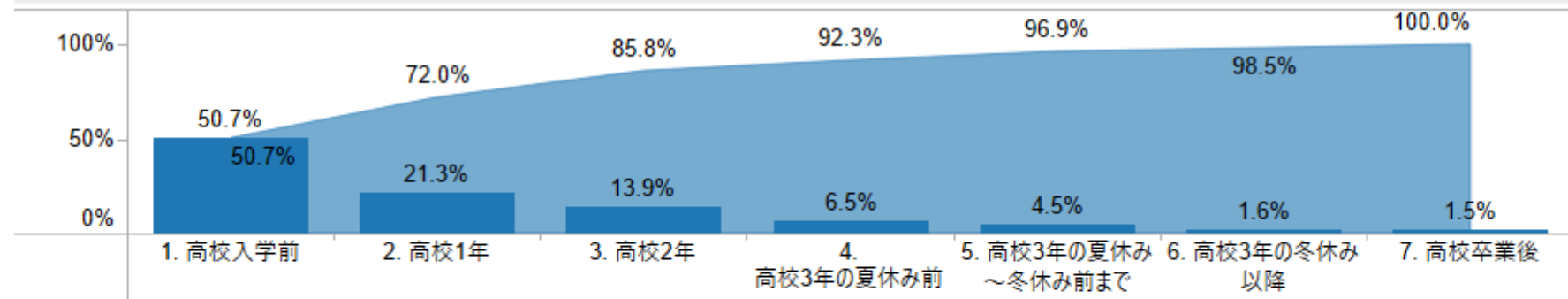
大学HP、案内冊子、オープンキャンパスが比較的役立ち、SNSや進学説明会・情報誌は「利用しなかった」割合が高い。

上智大学を選ぶにあたって、次の情報はどの程度役に立ちましたか。次の各項目について、あてはまるものを選んでください

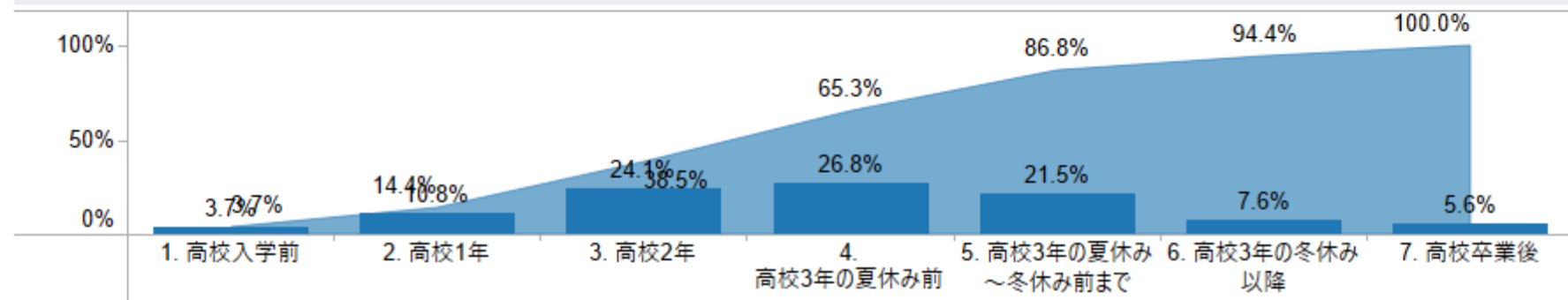


認知は早期、意思決定は受験期後半に進む典型的なパターンが見える。

あなたが上智大学を知ったのはいつですか

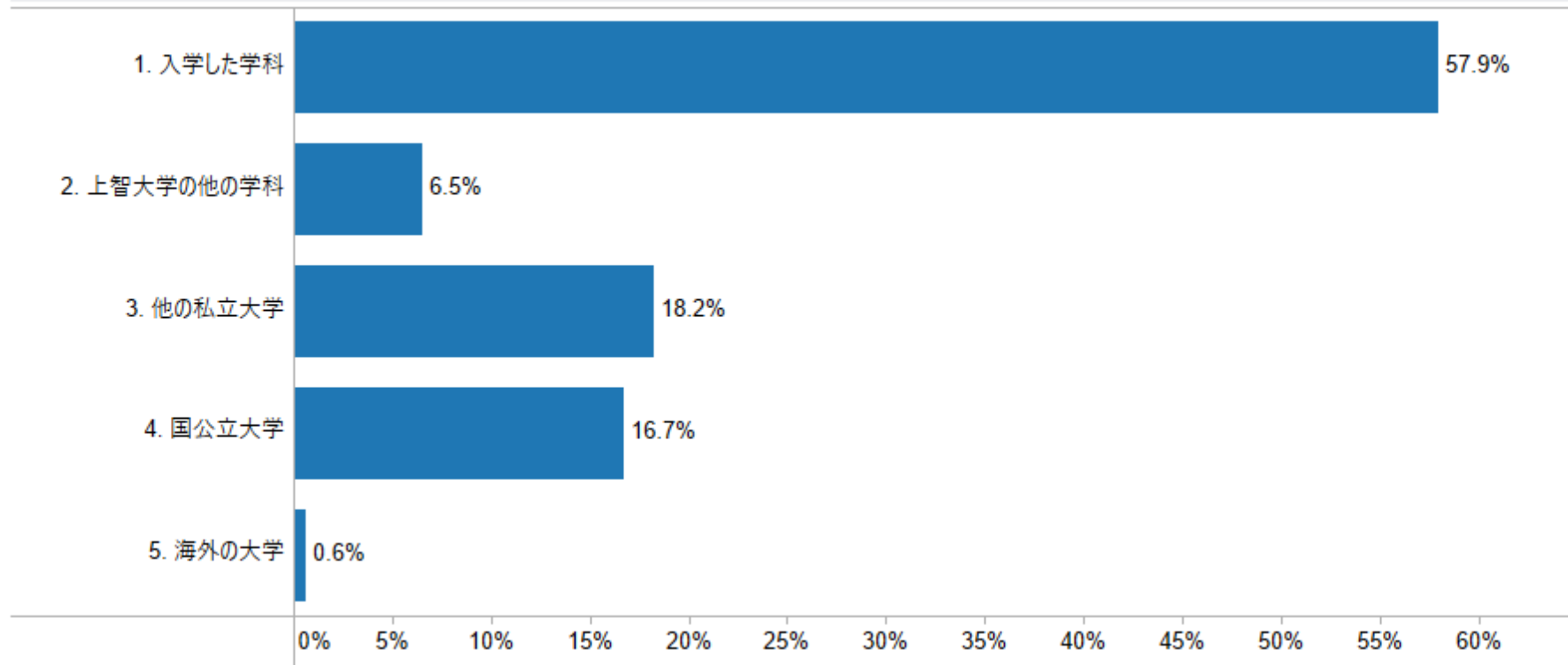


あなたが上智大学を受験することを決めたのはいつですか



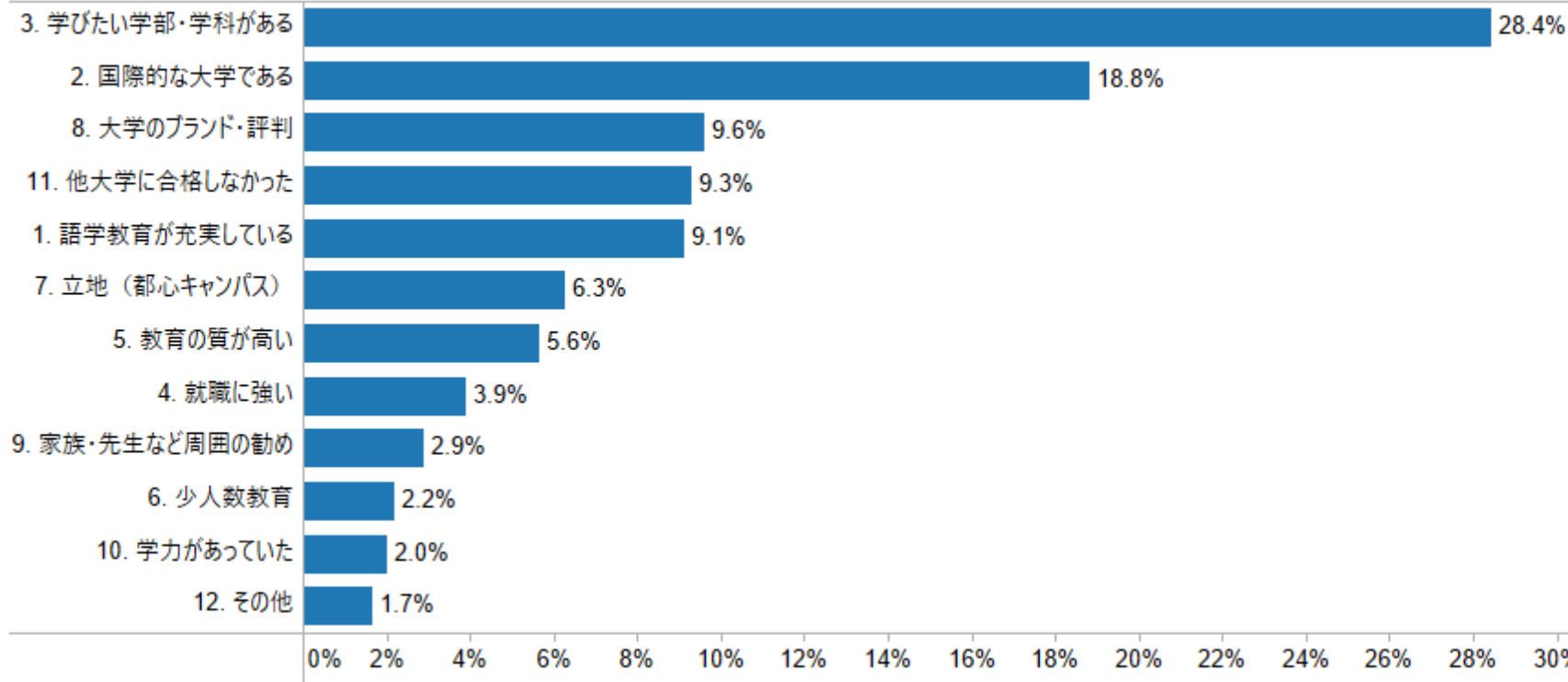
過半数が本命として入学しており、志望度の高い学生が多い。

受験時の第一志望はどこでしたか



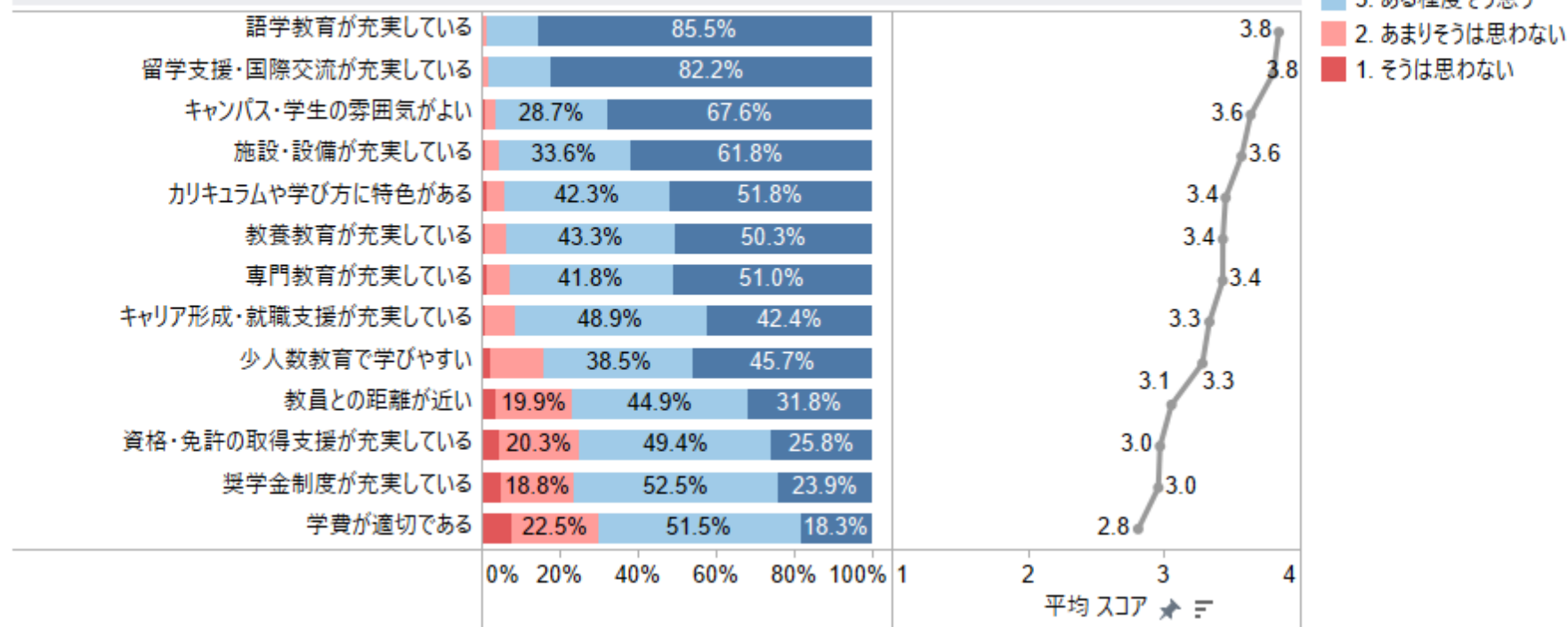
大学ブランドよりも、学びの内容と国際性が選択理由の中心になっている。

上智大学を最終的に選んだ理由として、最も大きかったものを1つ選んでください



上智の強みとして、語学・国際性のイメージが明確に浸透している。

上智大学に対してどのようなイメージ・期待を持っていますか。次の各項目について、あなたの気持ちに近いものを選んでください



自由記述：新入生が上智大学に期待すること（生成AIによるまとめ）

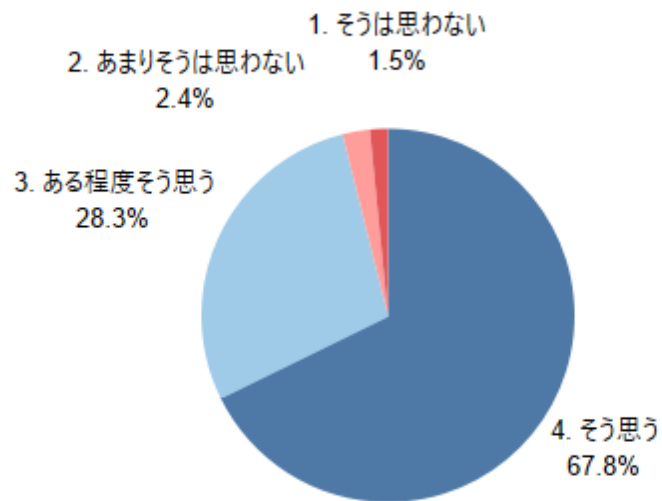
- **最も強い期待は、語学力と国際性の獲得**
英語・第二外国語、多文化環境、国際的な視野への期待が目立つ。
- **専門性への期待も大きい**
所属学部・学科での専門知識を深く学びたいという意識が強い。
- **一方で、期待は専門分野に閉じていない**
幅広い教養、他分野の学び、多様な価値観との出会いを求める記述も多い。
- **上智らしさは「国際性 × 人間性」の組み合わせにある**
多様な人との交流を通じて、視野を広げ、人間的に成長したいという期待が見られる。
- **学びの出口として、社会で活かせる力も意識されている**
課題解決力、実践力、コミュニケーション力、将来の進路につながる学びへの期待がある。

インサイト

- 新入生にとって上智大学は、単に「語学に強い大学」「国際的な大学」ではなく、**語学・国際性を入口として、専門性、教養、多様性理解、人間的成長を統合的に得られる場**として期待されている。
- つまり、入学時点の期待は
“スキルを身につける場” から “自分の視野と可能性を広げる場” へ広がっている。

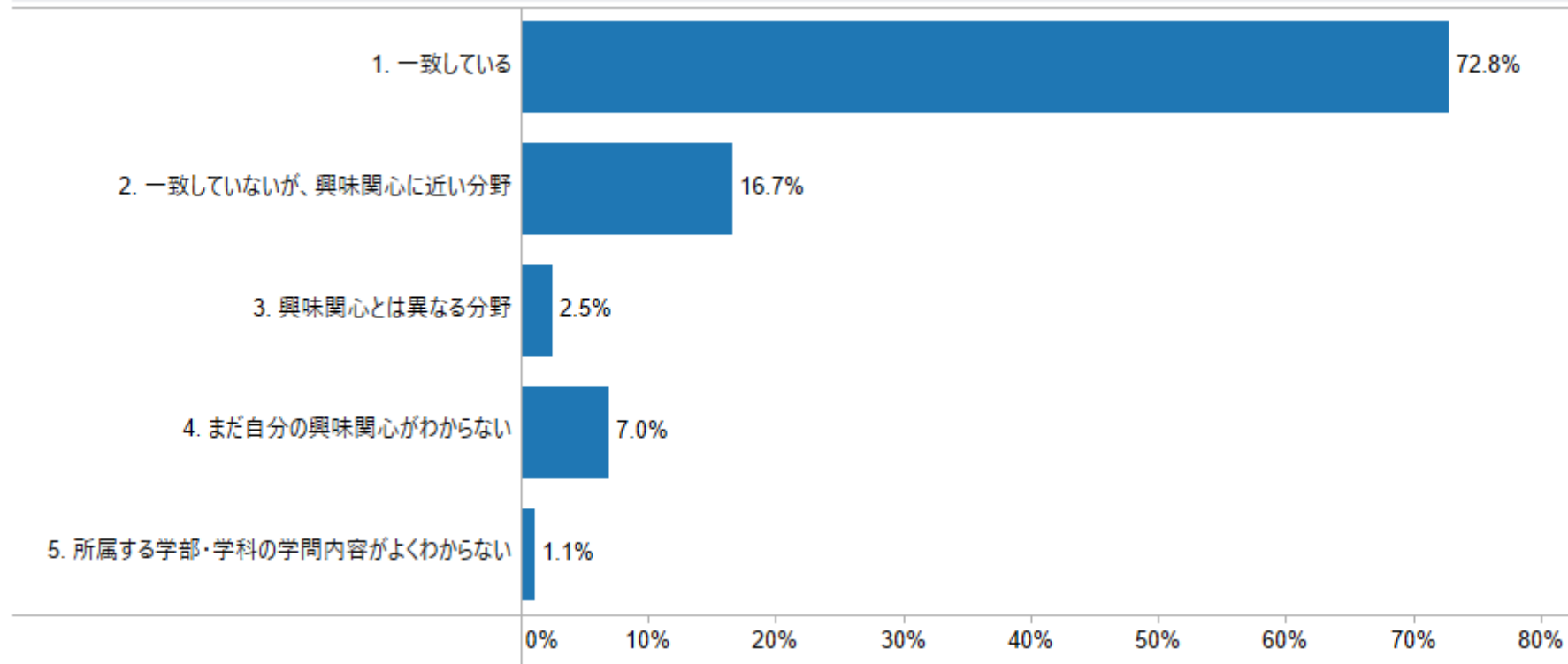
入学直後の満足度はきわめて高い。

現時点で、あなたは上智大学に入学してよかったと思いますか



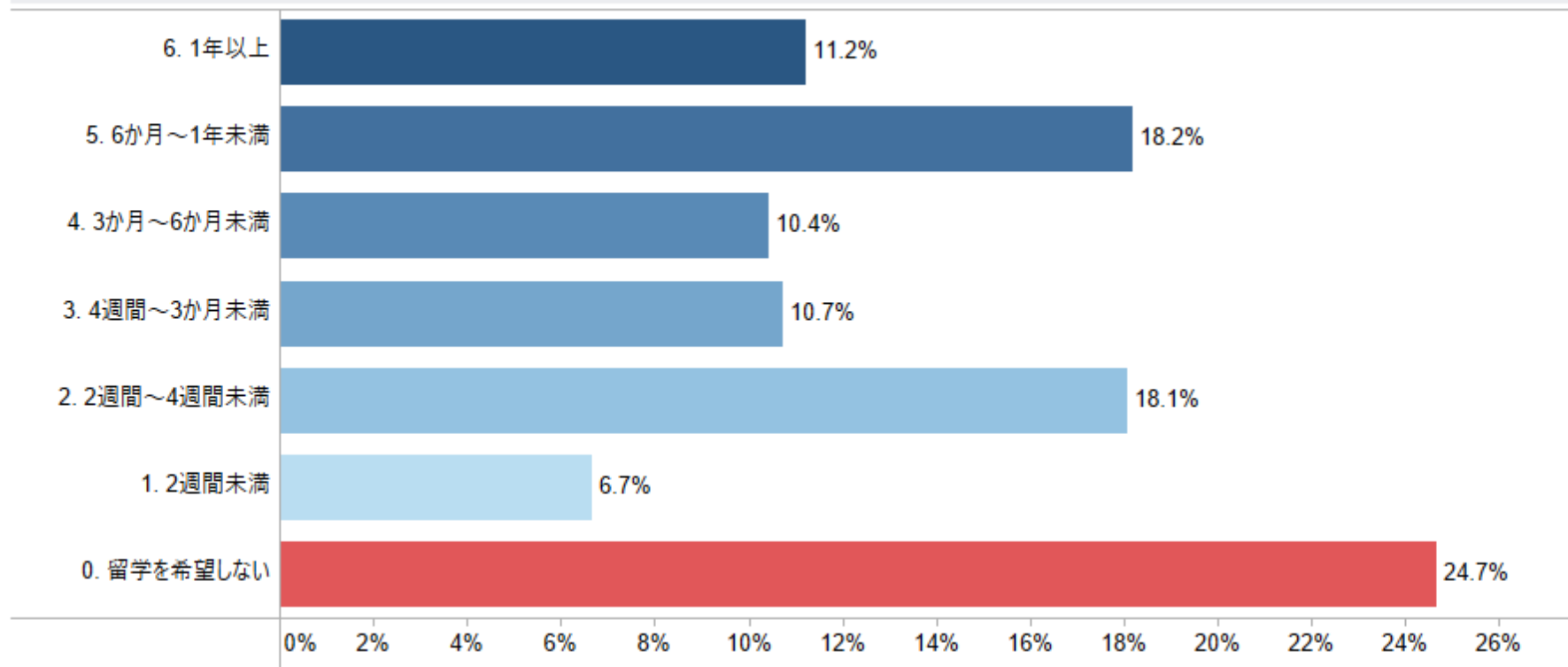
所属分野への納得感が高く、ミスマッチは限定的。

あなたが現在所属する学部・学科・コース等の学問分野と、あなたの興味関心とは一致していますか



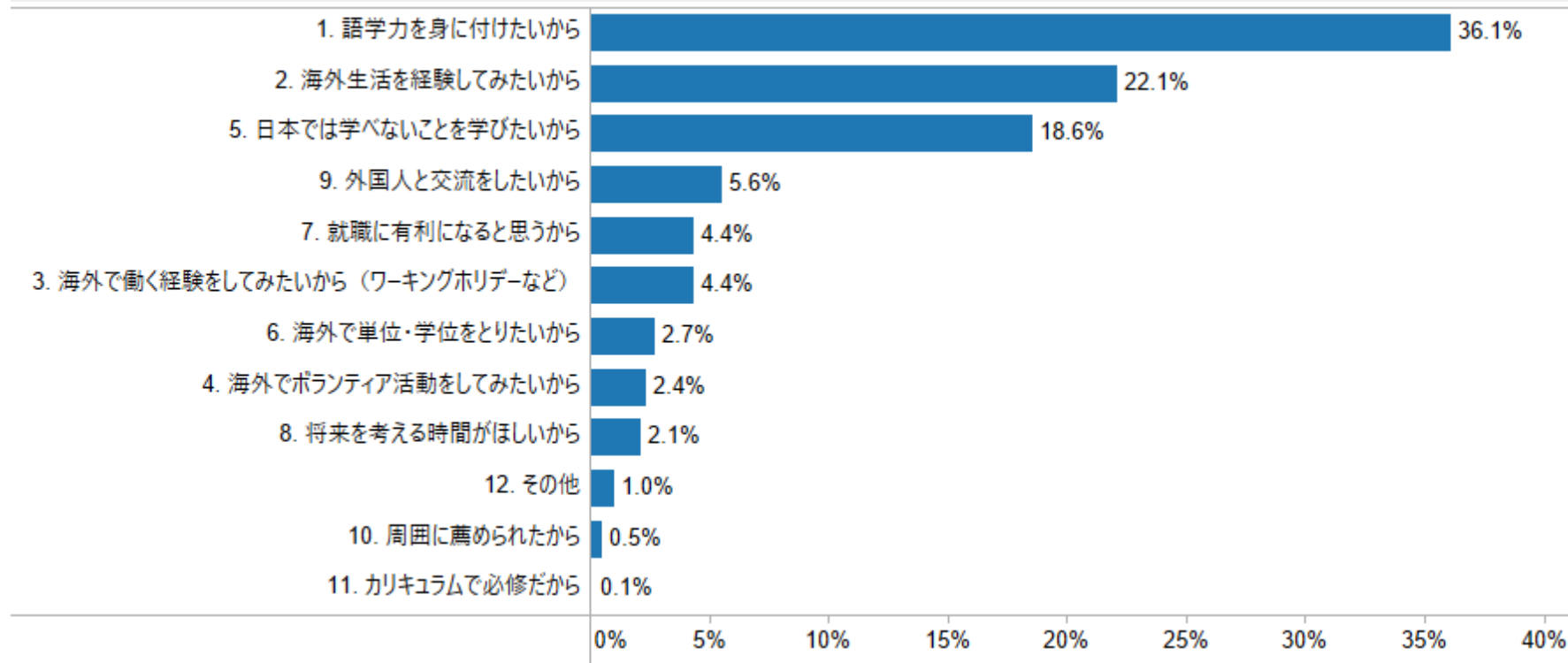
留学意向は二極化しており、短期型と中長期型の両方に需要がある。

今後の留学意向をお聞きます。留学を希望しない場合は0を、留学を希望する場合は、希望する期間を選んでください



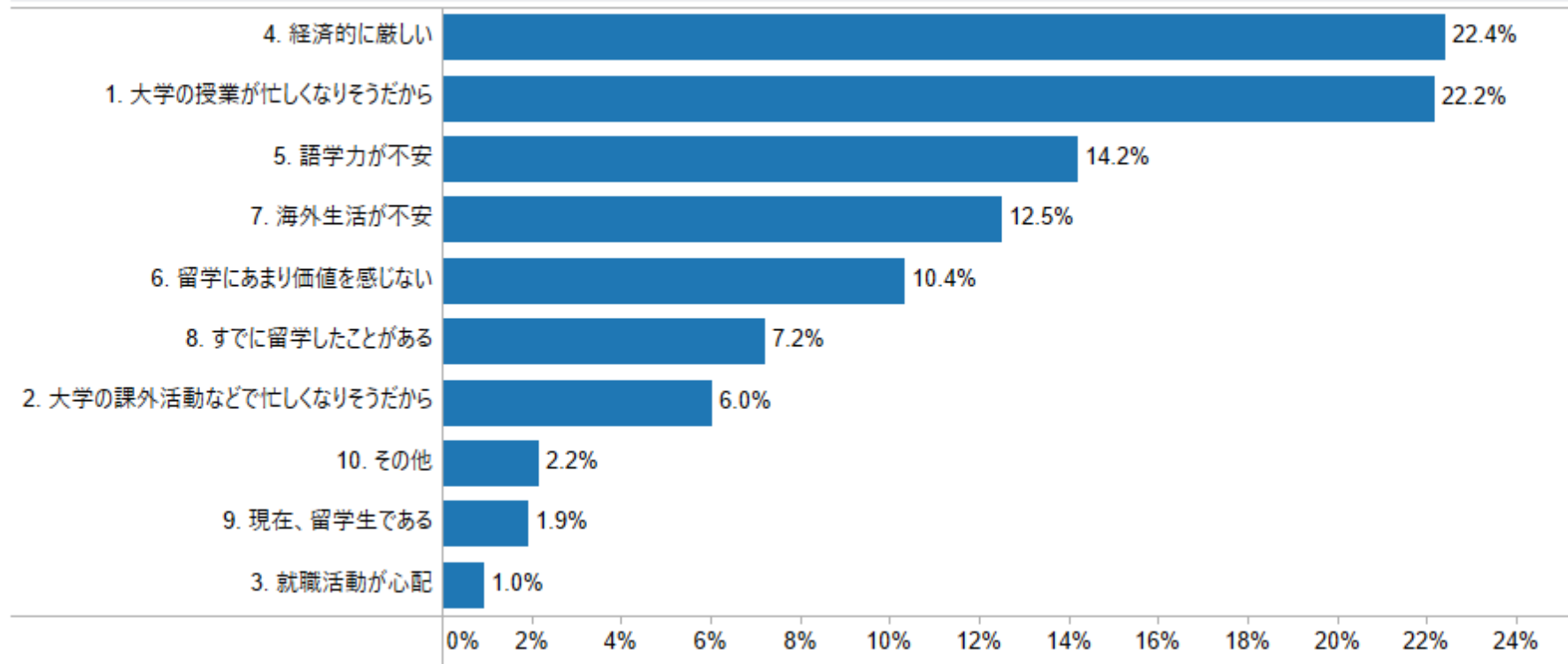
留学ニーズの核は、異文化経験以上に語学力向上にある。

留学を希望する理由として、もっともあてはまるものを選んでください



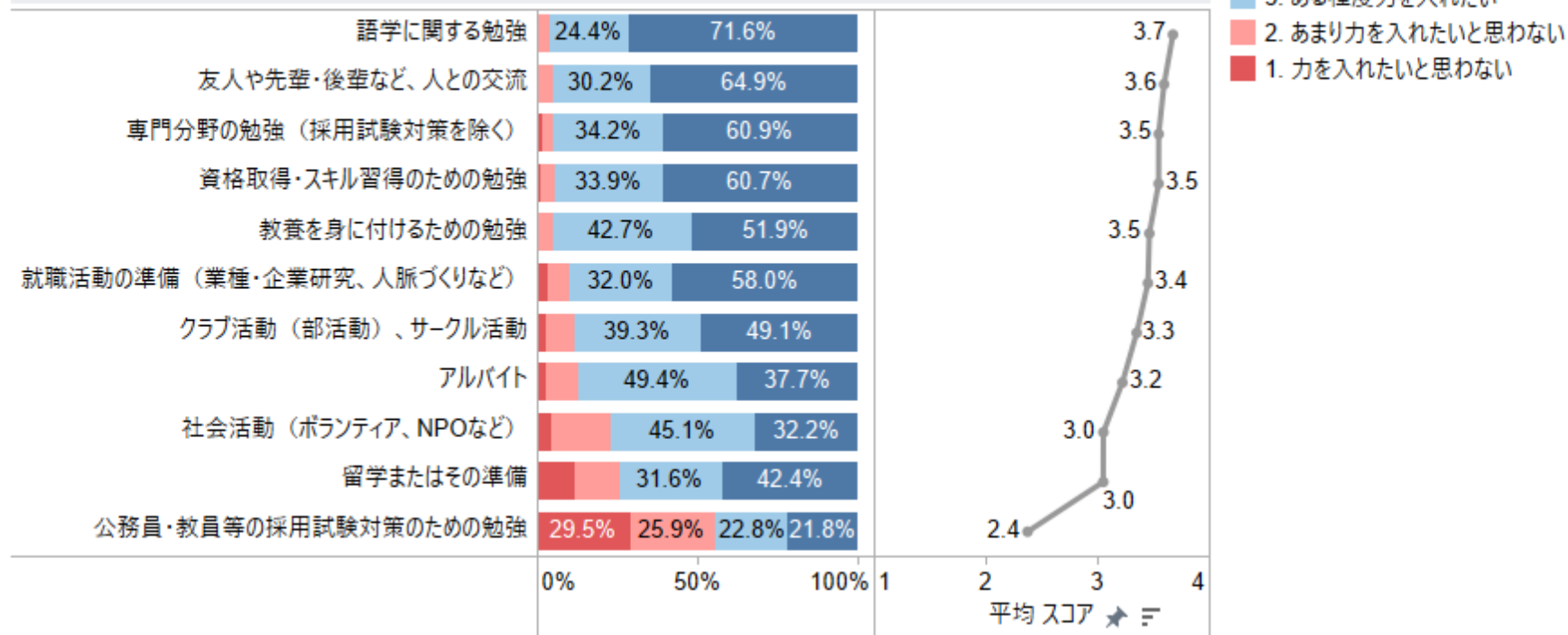
費用面と学業負担が、留学参加の主要な障壁になっている。

留学を希望しない理由として、もっともあてはまるものを選んでください



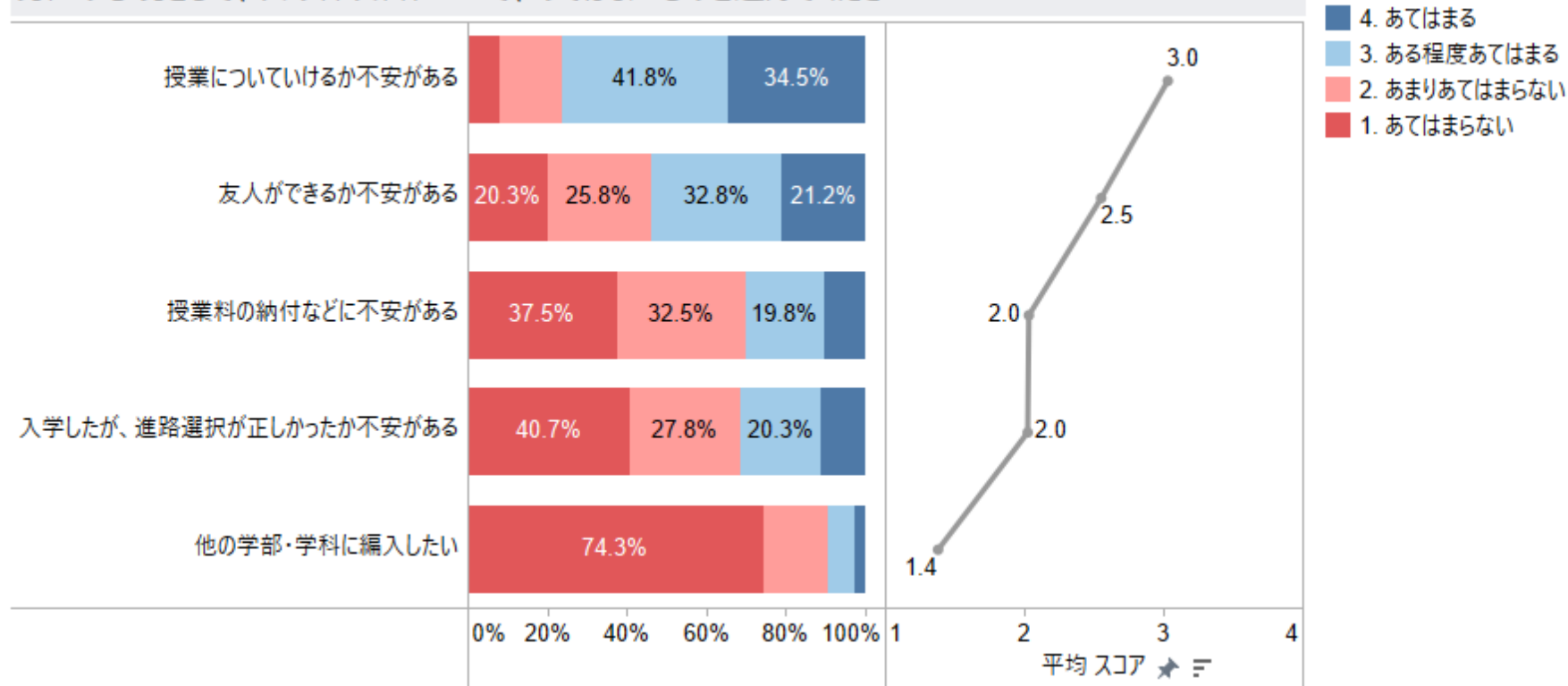
学生生活への期待は、語学・交流・専門性・実践スキルに集中している。

今後の大学生活の中で、次の項目にどの程度力を入れていきたいと思いますか。次の各項目について、あてはまるものを選んでください



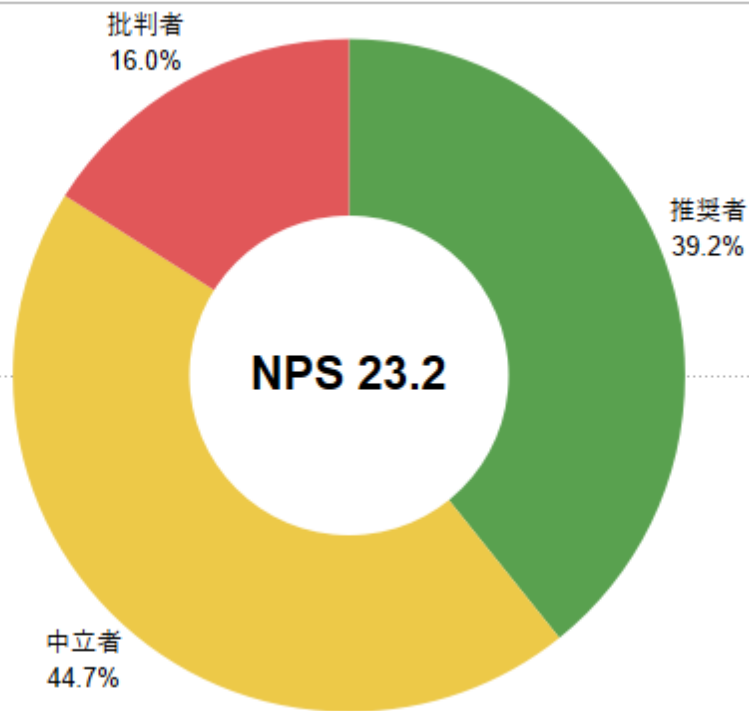
進路選択への後悔よりも、授業適応への不安が中心である。

現在の心境として、次の各項目について、あてはまるものを選んでください



推奨意向はプラスだが、中立層を推奨者に引き上げる余地が大きい。

現時点で、あなたが上智大学を友人や同僚に薦める可能性はどれくらいでしょうか？



自由記述：新入生が上智大学を薦める理由・薦めきれない理由（生成AIによるまとめ）

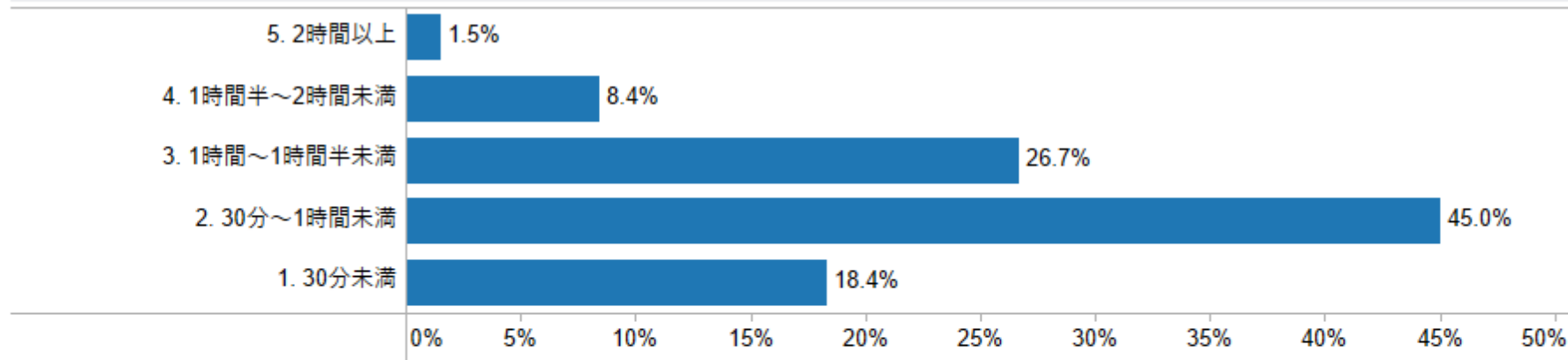
- **薦める理由の中心は「人・雰囲気・環境」**
先生、先輩、友人、学生の雰囲気、キャンパス環境、立地の良さなどが多く挙げられている。
- **学びの内容への満足も推奨理由になっている**
授業の面白さ、専門的な学び、語学教育、国際性、多様な学びの選択肢が評価されている。
- **上智らしさは「国際性」だけではなく、居心地の良さにもある**
国際的・多文化的な環境に加えて、「落ち着いている」「温かい」「丁寧」といった安心感が推奨意向を支えている。
- **一方で、低評価の多くは強い不満というより“判断保留”**
「まだ入学したばかりで分からない」「授業が始まったばかりで評価できない」という理由が目立つ。
- **推奨をためらう要因も一部存在する**
第一志望ではなかったこと、履修・授業への不満、キャンパスの狭さなどが挙げられている。

インサイト

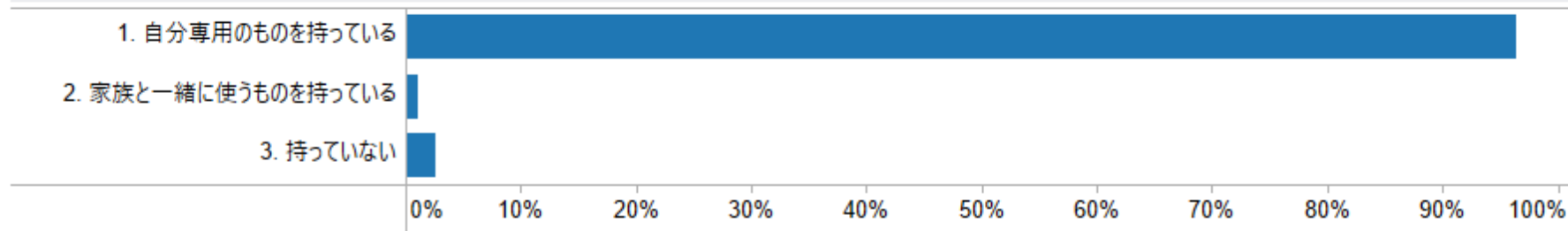
- 新入生の推奨意向は、単なる大学ブランドではなく、**入学後すぐに感じる「人の良さ」「雰囲気の良いさ」「学びの期待感」**によって支えられている。
- 一方で、批判者の理由には明確な不満だけでなく、**“まだ上智の価値を十分に体験できていないため薦めきれない”**という保留的な反応も多い。
- つまり、入学直後のNPSを高める鍵は、**初期段階で「この大学を選んでよかった」と実感できる接点を増やすこと**にある。

通学負担は比較的標準的で、学習用ICT環境はほぼ整っている。

上智大学までの片道の通学時間について、あてはまるものを選んでください



あなたは今、ノートパソコンを持っていますか





上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

FOR OTHERS, WITH OTHERS